

# 株式会社フルスコア様 MASTERLINE(光 JEEP) 導入事例

## 8K 運用に欠かせない存在に



代表取締役社長 嶋田様



秋元様

株式会社フルスコア様は、多くの高精細映像の制作、演出、編集に携わっている会社様です。12K/8K の映像コンテンツ、ライブビューイング、技術 評価映像など、高精細映像に関する業務を多く手がけています。2021 年夏頃より、各種現場にて PROTECH の MASTER LINE(光 JEEP) をお使い頂いております。今回は使用感やシステム運用について、株式会社フルスコア・嶋田様、秋元様よりお話を伺いました。

株式会社フルスコア  
代表取締役社長 嶋田様、秋元様



### ⑧ 4K8K の映像は如何ですか。

8K や 12K と云った高精細映像の魅力は奥行き感や立体感だったり被写体の質感まで表現できる再現力の高さにあると思います。2K や 4K にダウンコンした際のオーバーサンプリング効果による精細感の高さや、大画面上映時にもまるで目の前にあるかのような臨場感にも大きな魅力があるのではないのでしょうか。

フルスコアでは、8K12K の高精細映像の映像素材を販売しています。販売している映像はフルスコアのホームページにありますので、皆さんにも見ていただければと思います。

### ⑨ 運用しているシステムについて教えてください

フルスコアでは、Blackmagic Design の 12K カメラを始めとする各種カメラやスイッチャーなどの各種製品を中心に、キヤノンや ASTRO の 8K カメラ等を所有し運用しています。ポストプロ環境としてはキヤノンのリファレンスディスプレイである DP-V2421 で色味を確認し、SHARP の 8M-B321C1 や LV-70002 での高精細確認を行う環境を用意しています。また 8K の収録再生環境としては、Panasonic の expressP 2 レコーダや Hyper CUBE MHP-8000 等の運用も行っており、高精細映像の撮影・編集の環境を整えています。高精細映像制作の案件がありましたら是非ご連絡をお願いいたします。

### 株式会社フルスコア様導入機材仕様

- 12G-SDI 送受 ....22 系統  
(子機側 16 系統送信、6 系統受信)  
(親機側 6 系統送信、16 系統受信)
- TC (親機→子機、子機→親機)
- AUDIO 12 系統  
(子機→親機 6 系統、親機→子機 6 系統)
- AES/EBU 16 系統  
(子機→親機 8 系統、親機→子機 8 系統)
- TALLY
- LANC 5 系統 (親機→子機)
- REMOTE 8 系統 (RS422/485 対応)
- LAN イーサネット対応 1 系統  
PoE 給電対応 4 系統
- クリアーカム 2W 2 系統
- 4W インターカム 2 系統
- FD-400A 接続 2 系統

### ① 光 JEEP 導入の目的を教えてください

様々なステージを 12K/8K といった高精細な映像でマルチカメラを用いて撮影する機会が増えてきており、収録は出先側で行いながらベースでの映像監視やカメラのリモート制御、またスイッチングを行うために PROTECH の光 JEEP を購入させていただきました。

### ② PROTECH を採用頂いた理由は何でしょうか

PROTECH の光伝送機を使用する機会は今までありませんでしたが、動作の安定性だけでなく現場での使い勝手も非常に良かったので、光伝送機を購入することになった場合には PROTECH と最初から決めていました。仕様のカスタマイズが可能であることが非常に魅力的で、今後の案件を想定し仕様を決めさせていただきました。また非同期の 12G-SDI 信号の伝送が可能なのも魅力的で、各カメラの同期に気を使わないシステムを構築できることも採用に至った大きなポイントとなっています。

### ③ 以前まではどのように運用をされていたか

12K 収録を行う場合には、出先側のカメラに接続した SSD にて収録していますが、4K 出力をベース側に光伝送しています。4K 出力は 60P となるため 12G-SDI となりますが、12G-SDI 用の同軸ケーブルがシングルモードファイバをカメラ台数分の本数を撮影毎に毎回敷設して運用を行っていました。また音声卓から音声もらう必要もありますので、XLR ケーブルを音声卓から敷設する必要もありました。

### ④ 光 JEEP を運用をした感想を教えてください

フルスコア仕様の光 JEEP は、出先側からベース側への SDI 伝送が 16 系統と予備回線の 22 系統、ベース側から出先側への SDI 伝送が 6 系統の仕様になっています。そのうちベース側から出先側の SDI 伝送を 4 系統、デジタルだけでなく、デジタル・アナログ両方対応にして頂いています。これにより、出先側から 8K カメラの映像が 4 本 (8K は 12G-SDIx4 のため)、またアナログ信号を 4 系統もらえるため、ゲンロックとして活用しています。他にもリモートや LANC など十分に使えますし、クリアーカムだけでなく、元々フルスコアで持っている FD-400A も使える仕様になりました。FD-400A 自

体、通常より慣れ親しんでいるインカムなので、これが使える事も大きいです。

### ⑤ 光 JEEP 液晶表示機能について感想を教えてください

何より、その利便性の高さです。一番役に立っていると感じるのは液晶に各種の情報が映る事です。光 JEEP のいくつめに SDI の何 G の信号が通っているかが、一眼で分かるためとても便利です。ベース側と出先側で配線を行う際にそれぞれ誤解が無くなります。また、オーディオのメーターも非常に役に立っています。光強度や電源出力のメーターなども見やすいですね。モニターアウトで、光 JEEP の液晶に写っている情報をそのまま別のモニターに出せる点も便利です。まとめてベース側、出先側、それぞれの SDI の情報やオーディオのメーターも観察できるためセッティング時には非常に助かっています。また、逆にモニターインで、光 JEEP の液晶部分に 1.5G の液晶を簡易的に表示してくれるのも、もしもの時には使用させていただいています。



### ⑥ 技術面での要望があれば教えてください

特に技術面での大きな要望は感じていませんが、出先に対して大容量の電源が供給できると助かります。現状は屋内でのステージ収録が多いので AC 電源を会場からもらうことができますが、会場によっては電源をもらうことができないケースがあるため、SMPTTE 規格の制限はありますがカメラ 4 台分の電源として 400W ~ 500W 程度の電源容量をベースから供給できるようにすると、より便利になるのではないのでしょうか。

### ⑦ 12G 運用で難しい点などはありますか

12G 運用を行う上で機材の選定には気を付けています。12G-SDI 対応を謳っている製品でも、動作が不安定な機材も一部あり、機材の選定には非常に気を付けています。特に 12G-SDI を接続する場合 BNC ケーブルも非常にシビアで、長距離伝送が必要な場合には、光 JEEP を使用しています。